日本共産党
名古屋市議団
市政ニュース
2015年11月12日
No.50
http://www.n-jcp.jp
名古屋市中区三の丸三丁目１－１
電話052(972)2071　FAX052(972)4190
発行・日本共産党名古屋市会議員団

6月4日～19　名古屋港管理組合議会　11月議会　山口清明議員・高橋ゆうすけ議員

名古屋港を自衛隊の装備輸送に利用させるな
過大な施設整備をやめよ

質問項目
1）上半期港湾統計数値と港湾整備目標について
2）国際バルク戦略港湾について
3）自衛隊装備品の名古屋港での荷役について
4）防災対策について

名古屋港管理組合議会11月定例会が11月4日～9日の日程で行われました。９月に管理者が河村市長から大村知事に交代しました。

４日の開会に先立ち、故高橋圭三市議（中区、減税）に対する弔辞が行われ、補正予算などの提案説明があり、山口清明議員が一般質問を行いました。５日に委員会が行われ、企画総務委員会で高橋ゆうすけ議員、港営建設委員会で山口議員が質疑を行い、９日本会議で議決されました。

山口議員が防災対策などで質問

山口議員は一般質問で、名古屋港の貿易実績を明らかにし、「過大な整備はしない」よう強く求めました。自衛隊の装備品が民間船舶を利用して行われている実態を示し、名古屋港の軍事利用問題を追及しました。

バルク戦略港湾がＴＰＰ合意で計画通りにはいかないこと、防潮堤の補強が予定通りに進められていないこと、コンテナトラックの避難対策など防災対策などについても追及しました。

2015年10月15日　8月13日に出かけた演習帰りの装備の積み下ろし（金城ふ頭）

マスコミも次々と報道

マスコミも「北浜ふ頭の護岸工事費が見積もりの３倍と試算された国際バルク戦略港湾の計画から潔く撤退を」「高潮防波堤の補強工事が国の都合で遅れたことに厳しく抗議し、災害対策の充実を」などの形で山口議員の質問を取り上げました。

委員会審議も「イタリア村跡地は暫定利用が数年間は続く。広場の愛称公募やバスケやスケボー広場など活用について具体的に提案。巡視船みずほは間近に見えることも大いに活かそう」という山口議員の提案を報道しました

当初予算3倍の600億円
名港北浜ふ頭事業「ずさん」批判続々

11月5日
中日新聞

名古屋港北浜ふ頭（知多市）の埋め立て事業で、地質調査で軟弱な地盤があることが判明し、護岸整備費が当初の三倍の六百億円に膨らむことが、分かった。四日の名古屋港管理組合議会の一般質問で「ずさんな計画だ」との批判が相次ぎ、組合は計画全体の見直しも含め検証する方針を示した。

組合によると、北浜ふ頭先の約六十七㌶を埋め立て、穀物の輸出入機能を集約し効率的に運営する計画。二〇一一年に国の「国際バルク（ばら積み）戦略港湾」に選定された。

計画では、護岸整備費を二百億円と記載。国への計画提出期限まで二カ月しかなかったため、類似事業を参考に算定した。ところが、二二～一四年の地質調査で広い範囲で層の厚い軟弱な地盤があることが判明。これを補強する護岸構造を検討し、六百億円必要との試算が出た。

議会の一般質問で、直江弘文氏（自民、県議）は「民間需要も確実な見込みがなく、将来損失が出たら県市の負担金に頼らざるを得なくなる」と見直しを要求。山口清明氏（共産、市議）も「穀物需要は先行きに不安がある。傷が浅いうちに撤退を」と指摘した。

近藤隆之副管理者は、ＴＰＰ（環太平洋連携協定）の大筋合意で穀物需要に変化がある状況も踏まえ、「企業や関係者の話を聞くとともに、社会変化や組合の財政状況、企業の動向や土地需要を見極め、全体工程の見直しや事業費削減を含め計画内容の検証を行いたい」と答えた。

（室木泰彦）

2015年11月名古屋港管理組合議会　審査結果

	議案名	内容	結果	各会派の態度 共産	自民	民主	公明	減税
当局提案	平成27年度名古屋港管理組合一般会計補正予算	補正額8億7200万円。中川口通船門耐震補強工事、中川口ポンプ所と堀川口防潮水門ポンプ所の補修、臨海道路の補修、イタリア村跡地整備など	可決	○	○	○	○	○
当局提案	平成27年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算	補正額6720万円。水族館振興基金3700万円、海事文化振興基金680万円、環境振興基金2340万円。	可決	○	○	○	○	○
当局提案	平成27年度名古屋港管理組合埋立事業会計補正予算	補正額3300万円。西部地区第２貯木場埋立地での仮設道路整備費	可決	○	○	○	○	○
当局提案	名古屋港管理組合個人情報保護条例の一部改正	マイナンバー法の施行に伴う条文の改正。	可決	●	○	○	○	○
議員提案	名古屋港管理組合議会会議規則の改定	議員の産休を明記するなど	可決	○	○	○	○	○
議員提案	議員派遣（副議長の海外視察）	フリマントル港（オーストラリア）表敬訪問、シンガポール港の調査。2016年1月17日～（8日間）。	可決	●	○	○	○	○

＊2014年度決算認定案は閉会中審査になっています。